

11	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	14104012	臓器リモデリングの分子機構：間葉系細胞における遺伝子転写制御と細胞間相互作用	永井 良三（東京大学・医学部附属病院・教授）	A
<p>（意見等）</p> <p>本研究領域での originality は高く評価される。転写因子 BTEB2/KLF5 の心血管リモデリングの関与について成果が見られ、一流誌へも掲載されるなど研究の進行は順調で、業績が集積されている。その研究成果は細胞レベル、動物レベルの報告であるが、臨床応用への可能性も示され、今後の成果が期待される。</p>				
12	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	14104013	消化器癌に対する新しい免疫療法と診断法の開発	河上 裕（慶應義塾大学・医学部・教授）	B
<p>（意見等）</p> <p>癌抗原同定研究は順調に経過し、発表論文など成果は評価できる。また、新規に設定した分子標的 (siRNA) の研究については高く評価される。研究目的や方法は優れたものがあり、さらなる研究の推進が期待される。</p> <p>しかし、本研究が目的としている新しい免疫療法と診断の開発について臨床応用を目指す点では一層の努力が望まれる。</p>				